



「アートと文化が誰にも近い街」を目指し、「アートと生活」をテーマとして、芸術や文化に親しんで頂くきっかけを提供する芸術文化講座。各分野の専門家が、アートがはじめての方々にやさしく語りかけます。2022年9月(第33回)は「京橋地域と映画 ―日本映画の歴史の投錨地―」です。国立映画アーカイブ主任研究員の富田美香さんをお迎えし、日本映画を通して京橋を語って頂きます。

< 2022年9月(第33回) >

## 京橋地域と映画 ― 日本映画の歴史の投錨地 ―

19世紀末に誕生した映画は、近代的な見世物や娯楽として、また新しい芸術として、そして教育やプロパガンダ、貴重な記録媒体として、20世紀の人々の生活に広く深く浸透していきました。明治の日本にも映画館が誕生し、東京市京橋区(現在の東京都中央区京橋)にも「第一福宝館」が出来ました。以来、その地は映画との歴史を紡ぎ、現在は日本で唯一の国立映画専門機関である国立映画アーカイブが活動しています。映画を観る人、観せる人、そして、作る人も守る人も集まる街・京橋を、映画史の観点から見つめてみましょう。

**日 時：**2022年9月21日(水) 18:30～20:00

**会 場：**新型コロナウイルス感染拡大防止のため、  
「オンライン講座」としてYouTubeにて配信します。

**参加料：**無料

**申込方法：**Peatix (<https://peatix.com/event/3276916>)

右上の**リンクボタン**(またはQRコード)よりお申し込みください。

▶ お申し込み(Peatix)



※今後の状況により、延期・中止をさせて頂く場合もございますので、あらかじめご承知置きください。

< 講 師 >



**富田美香氏 (国立映画アーカイブ 主任研究員)**

専門は日本映画史。立命館大学文学部助教授、映像学部教授を経て、2015年から現職(当時 東京国立近代美術館フィルムセンター)。企画・担当した主な事業に「生誕100年 木下忠司の映画音楽」(2016年)、「製作50周年記念『2001年宇宙の旅』70mm版特別上映」(2018年)、編著に『データベースと日本文化研究』(ナカニシヤ出版)など。